



コロナ禍の支部活動

支部長 鹿野 由貴（昭和48年卒）

新型コロナウイルス感染症下で3度目の春を迎えました。個人生活でも多くの困難が生じております。大変な日々を余儀なくされている方々にお見舞い申し上げます。また感染症対策に従事されている方々に感謝申し上げます。

この3年間様々な制約がある中、支部も思うような活動ができておりません。2020年、21年と連続して総会の開催を見送りました。本年についても、役員会で協議を重ねてまいりました。結論から申し上げますと、懇親会やエンターテインメントを伴う総会はいりません。

しかしワクチンの普及や新薬の開発、ウイルスの変異など複数の要因から、社会は感染症との共存を模索しつつあります。これらを踏まえ、支部も通常を取り戻す第一歩を踏み出そうと決断するに至りました。

今年の『支部総会』は、各学年の評議員と役員が議事を執り行う形式で、平日午前中に開催することといたします。評議員と役員以外の出席はありません。

厳しい状況下の判断であることから、会員の皆さま方への報告が遅れ、支部だより紙面に於ける連絡となりましたこと

皆さま方。イラスト使用を快諾くださった栗野先生からは「ご寄稿された皆さまの嚶鳴精神と、編集にあられた皆さまの心がしっかりと伝わりました」イラスト入りの素敵な葉書が届きました。他にも「こんな時代でも、それぞれが力強く日々を過ごしている様子がありありと伝わってきました」「感染者が多い首都圏からの帰郷ができにくくなっているのに、山形や母校の記事は嬉しかったです」「雪の校庭写真が懐かしいです。後輩たちの元気で学校生活を謳歌している様子も嬉しく感じました」「皆さんの思いや様子を知ることができました。たくさんの同窓生を力づけることと思います」届いた感想の一部です。

2021年支部だより特別号は、在校生や教職員、本部同窓会、やまがた育英会学生寮、山形県東京事務所、山形県庁、山形東高東京同窓会などにもお送りいたしました。

二つ目は、厳しい状況下で多くの会員が支部会費を納入して下さることで。

コロナ前の最後の総会…2019年総会で、千円から二千元への会費値上げ決議を承認いただきました。ところが次の年からコロナ禍に突入です。当初は郵便局に行くのさえも

誠に申し訳なくお詫び申し上げます。何卒ご理解を賜りたく存じます。そしてなにより残念に思いますのは、喜寿の皆さま方へのお祝いを申し上げる場が3年続け失われることです。2020年、21年については、喜寿学年に当たられる先輩方へのお祝いカードとプレゼントを秋口に発送しました。今年も同じような方式を取らざるを得ません。しかしこの状況が好転した暁には、盛大に総会でのお祝いを申し上げることをお約束いたします。

閉塞感に苛まれる日々ですが嬉しい事もありました。

一つ目は、昨年度に発行した『支部だより特別号』への反響が大きかったことです。

「東京に居ると西高を思い出すこともなく生活してきましたが、振り返るいい機会を貰いました」「私の文章と同じ紙面に同級生の記事や、支部活動を共にした先輩の寄稿文が載せられており、とても嬉しく感じました」「素敵な紙面をありがとう。拙い文章を載せてくださってありがとう」あたたかな言葉をお寄せくださった執筆者の

感染を恐れ、躊躇する状況でした。値上げと相まって、納入口数の大幅な減少を覚悟しました。にもかかわらず、多くの皆さまが支部へ心を寄せてくださいます。本当にありがたいことです。会計報告の数字の向こうに、懐かしい顔や、嚶鳴の絆を感じるのには私だけでしょうか。

三つ目は、西高と連絡を取り合う中で、理事の先生から届いたメールです。

コロナ禍での学校生活を気遣う私に「何をするにもひやひやして過ごしていますが、生徒たちの無邪気な笑顔に救われることも多いです。でもくっついていて生徒に「いちゃいちゃするな」と引きはがしたりもしています(笑)」一生でたった3年間の高校時代。それがコロナ禍であったとしても、後輩たちは遅く、明るく、元気で過ごしているのだと思うと、心の中がふっと温かくなりました。彼女たちが私のようなオバサンになった時に「あの頃は、大変な時代だったけれど、それでも西高は楽しかったね」と、思い出を語り合える場を守り続けていくことも、支部の大切な役割の一つだと実感できました。

一日も早く平穏な日々が戻ることを切に望みます。

渡辺 美智子(昭和37年卒)

昨年コロナ禍の中、支部長が発信された「繋ぐ」という言葉と喜寿の祝いをいただいたことに、私たちは深く感謝しております。

私たちが在学中のとき、山形駅前では連日山大生がデモをしていました。そして20才だった1964年東京オリンピックが開かれ、その年は大変な暖冬で、1月15日成人の日は道路に雪が全くありませんでした。

生き字引のようなベテラン先生には、お姉様たちがつけたチャーミングなニックネームがあり、私たちはその伝統を受け継いで過ごしました。また若き先生方には胸おどらせ、授業を心待ちにした日々もありました。

遠距離通学の人のみならず育ち盛りの私たちは、休み時間になると購買部へ駆け込み、・・・でも前売で求めたチケットのおかげで、映画全盛期のころの世界の名画に

出会うことができました。とにかく女子校の気安さから、のびとびと過ごせた3年間でした。

その後、学級によっては古希まで我が学級はぎりぎり喜寿の同級会をもちました。皆、家族の事を大事にしながら、地域活動・ボランティア活動・好きな事(絵画・合唱・朗読・手芸・旅行・山歩き・食文化の追求等)を楽しみ80代へ繋いでいっています。

アカシアの風を受けた3年間の自由と少しの厳しさと永遠の誇りを胸に、私たちはこの先も広い視野に立って元気ネットを繋いでいきたいと思えます。

37年卒の皆さま方から
届いたお礼状です



神尾ひさ先輩は百三歳で^{よみ}黄泉の国へ

遠藤 倭久(昭和30年卒・西高1回生)

令和4年2月10日、元支部長神尾ひさ様は103歳で永眠されました。

思い起こせば、私と神尾さんとの初めての出会いは、平成6年今から28年前になります。東京タワーに近いプリンスホテルでの東京支部総会に初めて参加した折りでした。ホテルの大ホールは同窓生で満席。壇上に立つ神尾支部長さんのご挨拶は、話が大変解りやすく堂々とされていたことが、今でもはっきりと覚えております。

その翌年、私は総会準備学年の評議員になると同時に、



平成13年支部長をバトンタッチして
左：遠藤さん 右：神尾さん

副支部長をも引き受けることになりました。当時、神尾さんが最もご苦労されていたのは、総会を開催する準備担当学年の引き継ぎであることを知りました。私は何も分からず、戸惑うことばかりでしたが、神尾さんは明快に、ある時は厳しく、ある時は優しく、色々教えてくださいました。体調を崩された時もありましたが、実に10年もの長い間、

神尾さんは支部長を務めあげられました。顧問になられてからも、私はお電話で相談したり、吉祥寺のお宅まで押しかけたり、今では懐かしい思い出になりました。神尾さんの後任として私が支部長の重任を果たすことができましたのも、神尾先輩のお陰と思っております。

今、東京支部は確実に次世代へ引き継がれており、喜ばしく思っております。その陰には、歴代の役員の方々、会員の皆様のご協力があったのことに感謝申し上げます。中でも神尾さんには、昭和30年頃初めて総会に出席して以来、歴代の支部長を支え、ご自分が支部長となり、顧問を辞任するまで、半世紀にわたる多大なお力添えをいただきました。現在の東京支部の礎を築き上げられた方と言えます。また、長い間には支部長不在の6年間もありましたが、支部が存続できたのは、当時の総会準備担当学年の大変なご尽力のお陰と思っております。

最後に、神尾さんの同窓会に寄せる想いを添えさせていただきます。

「時代が変化していこうとも、同窓会の仲間に会えば、きっと楽しい。心とんで新たな力が湧いてくる。そんな集いがいつまでも続くことを願っています。」

※平成15年東京支部総会講演から抜粋

2021年活動報告

- 3 月 山形育英会駒込寮訪問（役員有志）
- 4 月下旬 支部総会中止のお知らせと支部だより送付
- 10 月 14 日 臨時役員会（桜蔭コモンズ 3F）
- 12 月 9 日 臨時役員会（桜蔭コモンズ 3F）
- 以下予定の活動は、新型コロナウイルス感染拡大及び感染拡大防止のため、中止となりました。
- 1 月 新旧役員会
- 2 月 第 1 回評議員会 役員会
- 4 月 第 2 回評議員会 役員会
- 5 月 第 3 回評議員会 役員会
- 6 月 同窓会東京支部総会
- 6 月 第 4 回評議員会 役員会

年会費納入のお願い

1 口 ¥2,000

会の存続は会費があつてのことです
会費納入を宜しくお願いいたします。

※ 同封の振込票で

ゆうちょ銀行の支部口座へ

もしくは

別紙「会費納入方法」より

お振込み下さい

2022年 東京支部役員

支 部 長 鹿野 由貴 (S48 卒)

副支部長 川田 まき子 (S47 卒)

副支部長 野本 明美 (S51 卒)

庶 務 村林 三恵 (S52 卒)

庶 務 森山 倫永子 (S53 卒)

会 計 城 幸子 (H01 卒)

会 計 柏熊 美雪 (H03 卒)

広 報 武部 美智子 (S61 卒)

広 報 澤田 香央里 (H01 卒)

監 査 四津 明美 (S54 卒)

監 査 柴久喜 みどり (S39 卒)

顧 問 笠井 ひで子 (S44 卒)

2021年会計報告

2021年 嚶鳴同窓会東京支部 会計報告

支部長 鹿野 由貴
会 計 城 幸子 笠井 ひで子

〈一般会計〉		(単位：円)
収入の部		
前年度繰越金		2,348,715
年会費		1,490,000
総会会費		0
特別会計より新卒生総会参加費補助		0
本部より助成金		150,000
ご祝儀		0
雑収入		21
計		3,988,736
支出の部		
会議費		17,842
印刷費		80,686
事務用品		19,448
通信費		346,182
渉外費		1,620
役員等活動費		90,000
備品費		0
交通費		2,624
雑費		0
事業費		370,205
総会（未開催につき喜寿祝い品送付）		33,905
新規会員勧誘費		0
東京支部プレゼンテーション		3,520
ホームページ・名簿システム		332,780
計		928,607
差引残高	次期繰越金	3,060,129

〈特別会計〉		
収入の部		
前年度より繰越		298,722
一筆箋売上げ		0
ハガキ売上げ		0
ファイル・付箋売上げ		5,000
寄付金		10,000
口座利子		2
計		313,724
支出の部		0
計		0
差引残高		313,724
〈年会費納入状況〉	745 口	1,490,000

〈会計監査報告〉
帳簿・領収書等を照合の結果適正に行われていることを認めます

監 査 宮沢 厚子 四津 明美

会計 1 名未定のため笠井顧問が兼務していましたが、新たな会計担当として H3 卒 柏熊美雪さんが就任しました
また、監査は S36 卒 宮沢厚子さんが退任し、S39 卒 柴久喜みどりさんが就任しました

前ページでご紹介した
新役員の柏熊さんから
です！

よき春でありますように

柏熊 美雪（平成3年卒 旧姓小林）

梅の花が咲き始めた暖かな日に、息子2人がそれぞれ中学・高校を卒業しました。感染防止のため卒業式に在校生や来賓の出席はなく、生徒の合唱もなし「国歌 校歌静聴」という式次第は初めて体験しました。それでも式が開かれ節目を迎えられたのはありがたく、息子と友人達の成長をうれしく思いました。答辞で登壇した代表生徒は「学校行事も部活の大会も次々となくなり、普段の学校生活の楽しみも…」と声を詰まらせ、胸が痛みました。ですが答辞は「この状況で一生涯に行事の代替案を考え実行して下さった先生方、制限の中でも何とか工夫し合い楽しもうとした仲間たち」への感謝でしめくられ、子供たちの心のよわらかさを感じました。振り返って、自分の高校時代の屈託ない日々を思い起こしました。

私の勤務する大学図書館では緊急事態宣言下に数か月間休館した後、不本意ながら入館者数と利用時間を制限し、消毒や換気など試行錯誤で業務にあたってきました。蔓延防止措置が解かれた日に「今日からは何時間でも利用できますよ」と伝えた時の、学生のほろっと安堵したような表情は忘れられません。ふるさとの西高生や、新しい世界に飛び込んだばかりの新卒生も、この春からの生活が希望の多いものになることを願います。

この冬の山形は大雪で、除雪に大変苦労したと聞きました。皆様のふるさとはいかがでしょうか。今年度より会計担当となり、役員の方にお教養を頂き微力ですが何かお役にたてればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

● 支部グッズご案内 ●

使い勝手が抜群のクリアファイルと付箋



A5 サイズ (148×210mm)
全体爽やかグリーンの半透明
クリアファイル



A5 サイズ (148×210mm)
周りが白で中央が嚶鳴カラ
ークリアファイル



70×70mmの正方形サイズ
淡いブルーグレー付箋

グッズの購入で
若い世代への支援を！

総会・評議員会で販売します。

<価格>

◎クリアファイル 各200円

◎付箋 300円

◎セット 500円 ※200円お得です！

セット内容（クリアファイル2種、付箋）

～支部グッズを新卒業生へ！～

『首都圏にも嚶鳴同窓会
支部があることを知って
ほしい』

そんな願いから新卒業生
にメッセージカードを添
えて支部グッズをプレゼ
ントしています。

カードの裏面には支部情
報を載せています。



嚶鳴同窓会東京支部の情報は
こちらでも発信しています



ホームページ

<https://www.oumeitokyo.net/>

メールアドレス

oumeitokyo@gmail.com

支部へのご登録・連絡先変更・お問い合わせは
ホームページの「お問い合わせフォーム」より
ご連絡ください



Facebook、Twitter、Instagram
@oumeitokyo で検索ください

この支部だよりが皆様との「絆」であり「繋がり」となりますよう祈っております。

支部だより担当：澤田香央里（平成元年卒）